

県議会を

見る聞く

TV

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(6月定例会放送予定 6/7、14～17、23)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送

県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送(6月定例会放送予定 6/7、14～17、23)



県議会ホームページ

和歌山県議会

検索

和歌山県議会 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

※録画配信は、議場の工事に伴うサーバーの一時撤去のため、5月31日(予定)まで休止しています。



傍聴してみませんか

● 本会議は、申込みなしで傍聴できます。

● 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成22年6月定例会 会期日程(予定)

本会議	6月 7日(月)
本会議(質問)	6月14日(月)～17日(木)
常任委員会	6月18日(金)・21日(月)
本会議	6月22日(火)～23日(水)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方々による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局議事課まで

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。県民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

編集後記

2月定例会は、今年最初の議会ということで、平成22年度一般会計予算を中心に県政の課題について多くの議論が交わされ、緊張の日々でした。また、今号で表紙を飾った「関西広域連合」は、まだまだこれから話し合われる事が多く、具体的なイメージをどのような写真、イラスト等でお伝えするかに苦心しました。「関西広域連合」のイメージを皆さんに少しでもお届けすることができたでしょうか……。

お問い合わせは県議会事務局各課まで

総務課	議会庶務、情報公開など	☎ 073-441-3560 Fax 073-441-3559
議事課	傍聴、請願、陳情の受付など	☎ 073-441-3570 Fax 073-441-3575
調査課	調査業務、議員提案条例など	☎ 073-441-3580 Fax 073-441-3581

発行日
平成22年5月16日

編集・発行
和歌山県議会 ☎ 073-441-3570
〒640-8585(県庁専用郵便番号)
和歌山市小松原通1-1



議会活動 TOPICS

関空—中国山東省 定期便就航

関西国際空港と中国山東省の濟南遥牆国際空港との間に山東航空の定期便が就航したことに伴い、富安議長をはじめ議員3名が副知事と県内企業とともに、山東省を訪問しました。

また、山東航空本社、濟南市人民政府を訪れ、張幸福山東航空会長、陳先運濟南市副市长と会談し、定期便開設の御礼と増便のお願いをし、和歌山県を含めた関西地域と山東省との連携の強化を求めました。



関空—濟南の定期便 週2往復(火・土曜日)
濟南発8:05→関空着11:35 関空発12:35→濟南着14:25

予算特別委員会

知事出席のもと、県の新年度予算案について審議を行い、原案どおり可決しました。主な質疑は次のとおりです。

● 海外の県人会との今後の付き合い方は。

● 海外の県人会とはこれまで以上に付き合っていきたい。これまでの周年事業での訪問や県人会来県時の交流に加え、県の物産展の開催や観光PRに、現地で協力を得ている。県人会の子弟が故郷を訪れたいという要望には、県も協力して何らかの支援を行いたい。

● 青陵高校と陵雲高校の統合が在校生に不安を与えていると聞くが、統合後の定時制課程と通信制課程の授業のすみ分けについてはどうか。

● 統合しても、これまでと同じように、それぞれの課程で学習する。必要な交流は考えられるが、基本的には別々でこれまでと変わらない。

質問委員(8人)

3月11日(木) 谷 洋一・片桐章浩・平木哲朗・角田秀樹
3月12日(金) 山田正彦・奥村規子・泉 正徳・山下直也

● 市町村財政の健全化について、県の対応はどうか。

● 財政指標が一定の基準を超えた地方公共団体は、財政健全化計画の策定等が義務付けられたが、現在、県内には策定が必要な市町村はない。市町村財政の健全化には、自助努力が重要であるが、県としても市町村を取巻く環境の変化に応じ、適切な助言を行うとともに地方交付税の確保を強く国に働きかける。

● 東南海・南海地震への対策として、公立学校の耐震診断、耐震化率の進捗状況はどうか。

● 県内の公立小中学校の耐震診断は、建替え等予定の校舎等を除きほぼ完了し、耐震化率は平成21年4月1日現在、65.8%で、全国18位である。県立学校は耐震診断調査



を完了し、今年3月末現在、94.5%の予定である。

● カジノ・エンターテインメントについて、積極的に誘致すべきと考えるがどうか。

● カジノについて、真っ先にということではなく、今から研究しておこうということ、ご理解いただきたい。県民生活を守り、楽しみも追求できるような制度について、勉強していきたい。

● 県内の特別養護老人ホーム待機者の支援策はどうか。

● 「わかやま長寿プラン2009」に基づく計画的な施設整備に加え、経済危機対策に基づく緊急整備を積極的に促進し、平成22年度は、特養6施設(190床)の増築、小規模特養3施設(87床)の新

設を計画し、また、ショートステイ等の整備や在宅介護サービスの充実を努める。

● 県の緊急雇用基金を利用した高校卒業者の未就職対策とは。

● 新規高卒未就職者を県の臨時職員として雇用する。これは、あくまでも正規就職への橋渡しであり、関係機関に配置している就職支援員等が、2月に設置した連絡会議を核に機能的に連携しながら希望の就職につながるよう支援する。

● 観光資源としての和歌浦の海と、本年開催予定の「和歌の浦オープンウォータースイミング」(仮称)についてどう思うか。

● 和歌浦の海は、本県にとって大変貴重な観光資源と考える。この和歌浦の海を舞台とした大会の提案には大いに賛同する。県としても、地元和歌山市とも協働しながら、できる限り協力したい。